

Ⅲ. 事故予防対策等について

1. 事故予防対策の実施状況について

(1) 三重県 家庭内での事故予防の実施状況 (1歳6か月児健診時保護者へのアンケートより)

表11 幼児のお風呂での転落事故を予防するために何か工夫をしているか(%)□

	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2
している	69.6	72.8	71.1	73.8	73.5	75.3	72.3
していない	30.4	27.2	28.9	26.2	26.5	24.7	27.7

表12 表11で工夫している者のうち、その実施内容の割合(%)

	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2
入浴後はすぐお湯を抜いて浴槽内を空にする	69.3	66.5	68.1	71.0	68.3	68.4	70.8
浴槽の淵の高さを50cm以上にしている	11.8	12.1	12.7	15.3	15.3	15.3	18.7
お湯をはっている間は浴槽に入りにくい丈夫な蓋をしている	23.7	23.5	21.8	21.7	24.1	21.8	30.4
浴槽のドアを子どもが自分であけることができないように工夫している	38.1	45.1	45.1	44.9	46.5	45.8	50.3
その他	6.7	6.4	6.6	8.4	7.6	8.8	8.6

<参考：国の調査>

表13 浴槽に水をためたままにしないよう注意していますか。

(はい、いいえ、該当しないの3択で回答)

	H13	H17	H21	H25
はい(注意している)と答えた人の割合	64.3	69.2	71.5	73.5

表14 浴室のドアには、子どもが一人で開けることができないような工夫がしてありますか。

(はい、いいえ、該当しないの3択で回答)

	H13	H17	H21	H25	H29
はい(工夫してある)と答えた人の割合	31.3	32.0	36.2	38.2	46.5

* 平成25年度厚労科研「健やか親子21」の最終評価・課題分析及び次期国民健康運動の推進に関する研究(山懸然太郎班)

(2) 県内市町における乳幼児事故予防対策の実施状況

(「健やか親子いきいきプランみえ(第2次)」進捗状況調査より)□

・事故防止対策の取組を行っている市町 ……平成28年度より全市町で実施

表15	事故予防活動の内容	H28	H29	H30	R1	R2
	パンフレットの配布	27市町	27市町	27市町	28市町	27市町
	健康教育	15市町	15市町	17市町	16市町	16市町
	訪問時に指導	23市町	21市町	20市町	24市町	24市町
	その他 ・集団健診時の保健指導	5市町	5市町	4市町	9市町	1市町

2. 乳幼児突然死症候群(SIDS)について

(1)三重県 乳幼児突然死症候群(SIDS)及び予防策の認知度

(1歳6か月児健診時保護者へのアンケートより)

表16 乳幼児突然死症候群(SIDS)について知っているか(%)□

	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2
知っている	88.3	89.2	90.6	91.1	89.5	90.7	92.4
知らない	11.7	10.8	9.4	8.9	10.5	9.3	7.6

表17 表17で「知っている」者のうち、その予防対策について知っている割合(%)

	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2
あおむけ寝で育てる	89.4	80.0	84.4	84.6	83.7	85.5	86.7
禁煙する	60.5	54.6	54.5	53.0	49.4	53.2	49.5
できるだけ母乳で育てる	44.1	38.6	39.5	41.2	36.7	41.1	37.7

表18 お子さんが1歳になるまでの寝かせ方について(%)

*運動のためうつぶせの姿勢にしたり、自然に寝返ってうつぶせになる場合は除く。

	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2
うつぶせ寝をしていた	4.6	6.5	2.7	2.6	2.7	3.3	1.3
時々うつぶせ寝をしていた	21.9	21.9	21.7	13.7	16.0	17.1	12.8
うつぶせ寝はほとんどしなかった	73.5	71.6	75.6	83.7	81.3	79.6	85.9

<参考: 国の調査>

表19 お子さんを寝かせ始める時は、どのように寝かせていますか。

(あおむけ寝、うつぶせ寝、決めていない、その他の4択で回答)

	H13	H17	H21	H25
うつぶせ寝と答えた人の割合	3.5	2.4	1.3	1.3

*平成25年度厚労科研「健やか親子21」の最終評価・課題分析及び次期国民健康運動の推進に関する研究(山懸然太郎班)

(2) 県内市町における「乳幼児突然死症候群(SIDS)」予防対策の実施状況

(母子保健班調査より)□

・「乳幼児突然死症候群(SIDS)」予防対策を行っている市町

・・・27市町(H28年度) → 28市町(H29年度) → 29市町(H30年度) → 29市町(R1年度)
→ 29市町(R2年度)

表20 対象者

	H28	H29	H30	R1	R2
全数実施	18市町	19市町	18市町	22市町	18市町
一部対象者にのみ実施 ・母子手帳発行時 ・妊産婦教室等の参加者 ・新生児訪問、乳児家庭全戸訪問の対象者 ・うつぶせ寝や喫煙等のリスクのある家庭 等	9市町	9市町	11市町	7市町	11市町

表21 実施場面

	H28	H29	H30	R1	R2
母子健康手帳発行時	8市町	9市町	9市町	9市町	11市町
乳児家庭全戸訪問事業	20市町	21市町	24市町	22市町	23市町
その他の家庭訪問	2市町	2市町	4市町	6市町	12市町
健康教育	12市町	11市町	11市町	8市町	13市町
その他 ・出生届出時 ・保健センター内での啓発 (ポスターやパネル掲示、リーフレット設置) ・集団健診時の保健指導 等	6市町	6市町	10市町	7市町	7市町

表22 実施方法

	H28	H29	H30	R1	R2
パンフレット、リーフレット	20市町	21市町	26市町	28市町	24市町
DVD	1市町	1市町	1市町	1市町	1市町
媒体を使用しない啓発	7市町	7市町	1市町	2市町	4市町
その他 ・ポスター ・赤ちゃん人形 ・市の子育てガイド ・母子健康手帳 等	3市町	3市町	5市町	3市町	3市町

3. 乳幼児揺さぶられ症候群(SBS)について

(1)三重県 乳幼児揺さぶられ症候群(SBS)の認知度

(3・4か月児健診「健やか親子21(第2次)」の指標に基づく乳幼児健康診査必須問診項目より)

表23 赤ちゃんが、どうしても泣き止まない時などに、赤ちゃんの頭を前後にガクガクするほど激しく揺さぶることによって、脳障害が起きること(乳幼児揺さぶられ症候群)を知っているか。(%)

	H28	H29	H30	R1
「知っている」親の割合	97.6	97.2	96.6	96.8
<参考：全国値>				
	H27	H28	H29	H30
「知っている」親の割合	97.6	97.6	97.3	96.8

(全国のH30年度は暫定値)

(2)県内市町における「乳幼児揺さぶられ症候群(SBS)」予防対策の実施状況

(「健やか親子いきいきプランみえ(第2次)」進捗状況調査より)□

・「乳幼児揺さぶられ症候群(SBS)」予防対策を行っている市町

・・・23市町(H28年度) → 24市町(H29年度) → 27市町(H30年度) → 27市町(R1年度)
→ 26市町(R2年度)

表24 対象者

	H28	H29	H30	R1	R2
全数実施	11市町	10市町	11市町	14市町	18市町
一部対象者にのみ実施					
・母子手帳発行時					
・妊産婦教室等の参加者					
・新生児訪問、乳児家庭全戸訪問の対象者					
・うつぶせ寝や喫煙等のリスクのある家庭 等					

表25 実施場面

	H28	H29	H30	R1	R2
乳児家庭全戸訪問事業	12市町	16市町	16市町	16市町	19市町
その他の家庭訪問	6市町	9市町	9市町	9市町	13市町
健康教育	14市町	15市町	16市町	16市町	13市町
その他					
・母子手帳交付時、出生届出時、定期予防接種の予診票配布時					
・乳幼児医療等申請時					
・集団健診時の保健指導					
・妊婦教室や育児相談時					
・母子保健推進員、ファミサポ、保育サポーターの養成時					

表26 実施方法

	H28	H29	H30	R1	R2
パンフレット、リーフレット	13市町	17市町	20市町	23市町	21市町
DVD	8市町	10市町	10市町	12市町	10市町
媒体を使用しない啓発	5市町	5市町	3市町	3市町	4市町
その他					
・母子手帳発行、教室時に赤ちゃん人形を使い健康教育					
・パワーポイント					